

【石川県】

里山の利用・保全に関する今後の方向性について ～ 2010年『国際生物多様性年』に向けて～

里山のパターン

- 生産機能が存続している地区
 - ① 今後も生産機能が自立的に維持していける地区
 - ↳ 産業としての農林水産業支援
 - ② 生産機能の自立的な維持が困難な地区
 - ↳ 先駆的里山保全地区を選定し、総合的な支援策を検討
- 生産・生活機能がほぼ消滅した地区
 - ③ 都市近郊
 - ↳ 都市住民や企業などに対するギャラリー及び環境教育機能を中心に施策展開
 - ④ その他の地域
 - ↳ 環境教育機能や国土保全、水源涵養などの公益的機能確保を中心に施策展開

H20(ホップ)

市町に先駆的里山保全地区の推薦を依頼
→ 教力所選定

【ポイント】

- ① 里山保全の全体的な盛り上げに向けて
- ② 里山に関する各種調査
- ③ モデル事業(FS)による①、②へのフィードバック

H21(ステップ)

先駆的里山保全地区での住民・地域の自発的取り組みの実践を支援

【環境部】
先駆的里山保全支援事業
5,500千円

【ポイント】

- ① 各種調査・モデル事業の継続実施
- ② 先駆的里山保全地区における具体的取り組みの実施と仕組みづくり
- ③ 先駆的里山保全地区への事業の重点投資
- ④ COP10を見据えた一連のイベントの展開

H22(ジャンプ)

住民による里山保全のための仕組み(里山憲章)の制度化に向け本格実施

【ポイント】

- ① 先駆的里山保全地区での取り組みをもとに仕組みづくりを制度化 → 本格実施
- ② COP10で里山の利用・保全のモデル例を世界に発信

<課題と対応策>

I 里山の生物多様性(自然環境)

生物多様性の衰退
↳ 希少種を含めた動植物の保全(既存事業)

- ・里山保全再生協定の支援
- ・人と野生鳥獣との共生推進
- ・オハレインクユニットの共同研究支援 など

II 里山の人々の営み(生産環境(産業))

過疎化・高齢化の進展
↳ 農林業等の多様な展開(既存事業)

- ・中山間地域等直接支払制度による農地の保全
- ・耕作放棄地の調査
- ・多様な農業人材の育成と支援のあり方を検討
- ・地域や都市の住民、企業等も含めた多様な主体による農地・水・環境の保全や集落活動の活性化を支援(リコーの取り組みなど)
- ・グリーンツーリズム・エコツーリズムの推進 など

III 里山の景観(社会・文化環境)

荒廃・公益的機能低下
↳ 公益的機能の発揮(既存事業)

- ・いしかわ森林環境税による森づくりの推進
- ・農業用水の水源林の整備 など

<H20.9月補正>

【環境部】
生物多様性戦略ビジョンの策定 [～H22]

【環境部】
里山における生物多様性の保全再生(ポランティアの活用) [～H24]

【環境部】
里海の創生[～H21]

【農林水産部】
生物多様性に配慮した農地の整備[～H24]

【農林水産部】
里山の水土保全モデルの調査 [～H24]

【農林水産部】
集落間の助け合いによる保全活動支援 [～H21]

【土木部】
里山景観等の保全・再生のための調査 [～H21]

【環境部】
いしかわ里山フェアの開催[～H22]

【企画振興部】(当初)
里山里海国際交流フォーラムの開催 [～H22]

<4本の柱>

I 里山に関する各種調査

II 里山利用・保全モデル事業

III 里山の資源を活かした産業創出

IV イベントの実施

【企画振興部】
里山里海に生きる知恵の伝承事業(里山の社会環境調査)
2,000千円

【農林水産部】
生き物出会いの水みちモデル整備(県単土地改良事業等に対応)

【環境部】
2,000千円

【農林水産部】
1,000千円

【環境部】
2,500千円

【観光交流局】
エコツーリズム推進事業
1,500千円

【企画振興部】
環境国際会議(アジア太平洋環境開発フォーラム等)開催事業
12,000千円

【環境部】
いしかわグリーン・ウェーブ2009
1,000千円



● COP10(名古屋)

【会議】
生物多様性の保全に向けた「戦略ビジョン」を知事が発信
[金沢大学、オペレーターティング・ユニットとも連携]

【エクスカージョン】
能登の里山の素晴らしさを体験

2010年12月
＜国際生物多様性年クロージング会議＞
石川県で開催を検討